

5. 五ヶ瀬川の川づくりの進め方

5.1 五ヶ瀬川水系の川づくりに関する取り組み

(1) 支川北川での先進的な取り組み

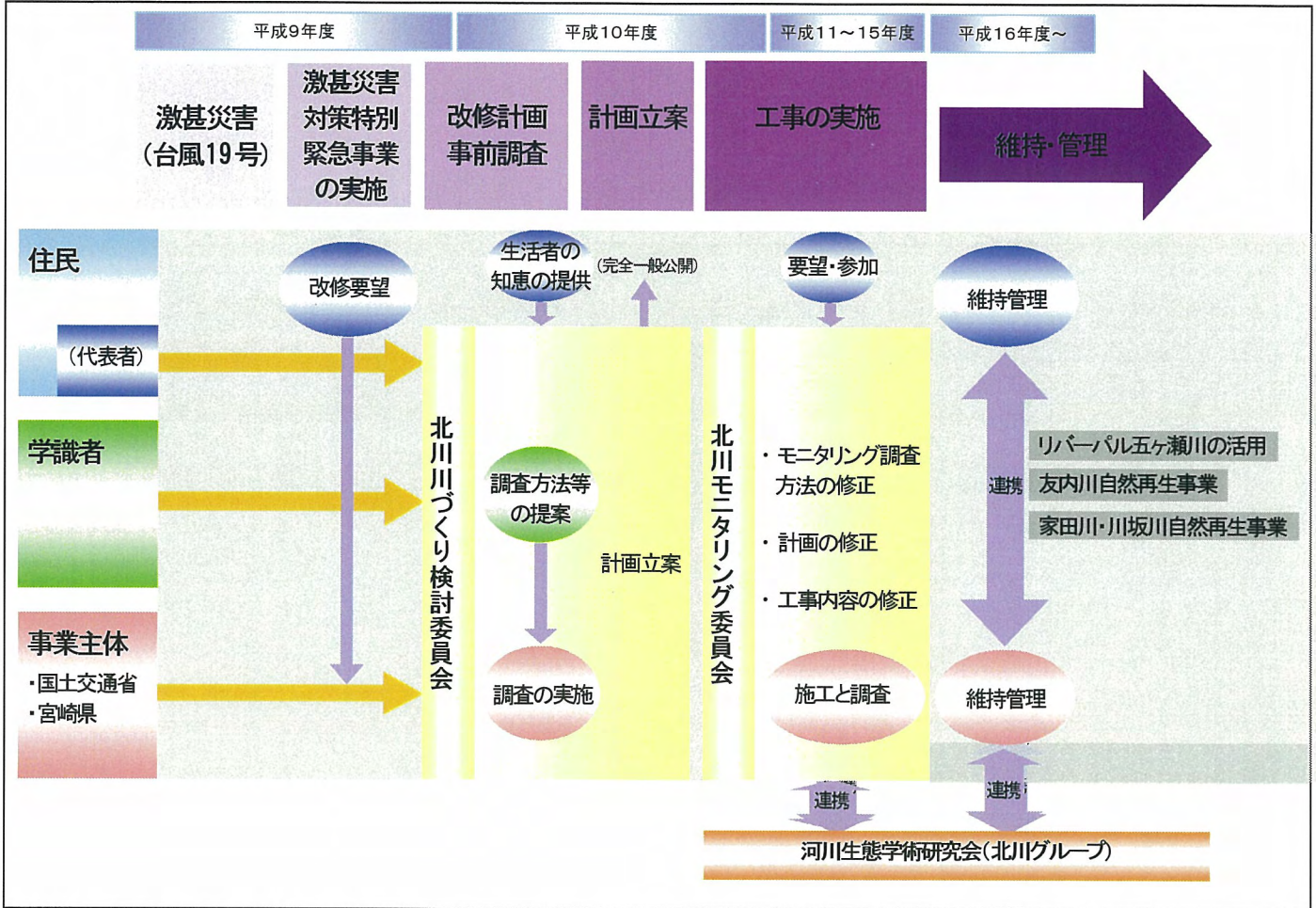
五ヶ瀬川支川北川においては、平成9年9月に九州地方を縦断した台風19号に伴う豪雨により堤防の決壊が生じ、甚大な被害が発生しました。再度災害防止を目的に、「北川河川激甚災害対策特別緊急事業」に採択され、集中的な河川改修を行いました。全国に先駆けた取り組みとして、事業計画策定にあたっては「北川川づくり検討委員会」を設立し、激特事業では初めてとなる完全な一般公開により川づくり計画を検討しました。河川の専門家や地元の方々等、様々なメンバーが連携し、河川工学や生物の専門家が一緒に議論することにより「治水機能の向上」と「自然環境の保全」の両立を目指しました。また、地域住民の方々が参加することにより、計画段階から地元の意見を反映させ、地元の事業への参加を積極的に進めてきました。

さらに、事業の実施が河川環境に及ぼす影響等を把握するとともに、事業の影響を最小限にとどめるため、河川環境のモニタリング調査を実施しました。これは「北川川づくり検討委員会」に引き続いて「北川モニタリング委員会」を設立し、事業実施について助言および評価を行ったものです。河川の本質の理解を深めることを目的に、生態学と河川工学の両研究者が共同となって創設された「河川生態学術研究会」と連携して、河川環境のモニタリング調査を行い、必要に応じて計画内容や工事方法等を積極的に見直しながら事業の各段階で様々な工夫や試みを行いました。

北川激特事業の結果、治水については、事業完了後に実際発生した激特対象洪水と同規模の洪水の観測結果から、目標とした効果がほぼ発揮されていることが確認できました。また、河川環境についても、改修前の生物が生息できる環境が概ね維持されています。

5. 五ヶ瀬川の川づくりの進め方

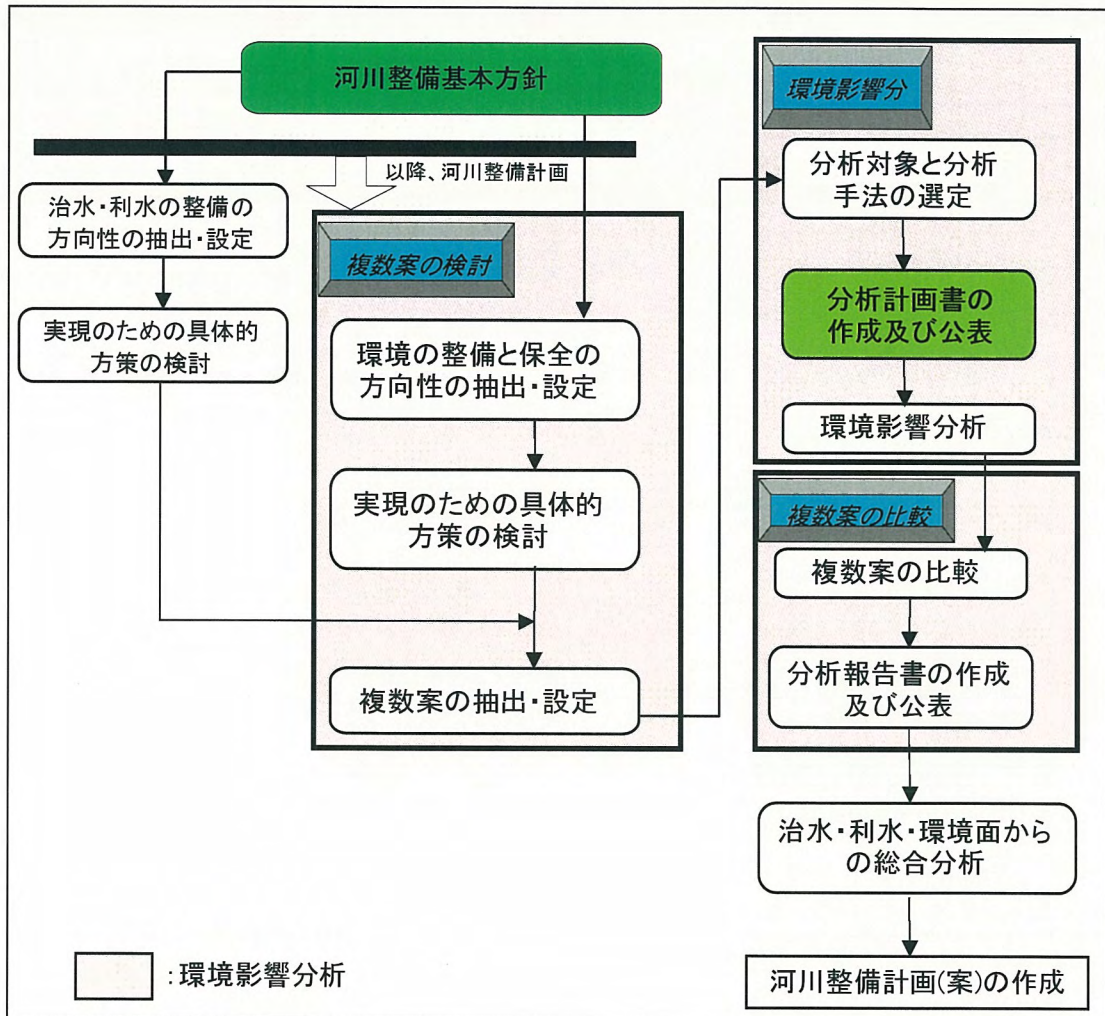
図 5-1-1 北川における事業の経緯と相互の役割分担 (住民, 学識者, 事業主体の役割と連携)



(2) 河川整備計画の策定にあたっての取り組み

(1) で述べた北川での先進的な取り組みを十分踏まえ、五ヶ瀬川水系河川整備計画の策定にあたっては、計画立案の時点で、うるおいのある水辺空間や水辺の生き物の生息環境といった河川環境に配慮するため、実施する河川整備を複数立案し、その複数案に関する環境面からの影響分析を実施しました。

図 5-1-2 計画段階での環境影響分析の流れ



(3) これまでの取り組みを踏まえた今後の取り組み

北川と同様、豊かで多様性に恵まれた自然環境を有する五ヶ瀬川水系全体においても、河川整備計画策定に向けて実施した計画段階における環境影響分析を踏まえ、河川整備の実施にあたってはモニタリングを行うなど、平成9年度から北川において実施している、地域住民や学識経験者等との緊密な連携により行った環境や景観に配慮した河川整備の経験を、今後も最大限活用していくとともに更なる取り組みにより良好な自然環境の保全を図ります。

5. 五ヶ瀬川の川づくりの進め方

5.2 関係機関、地域住民との連携

五ヶ瀬川を常に安全で適切に利用・管理する気運を高め、より良い河川環境を地域ぐるみで積極的に形成することを目的に、河川管理者として収集した情報や河川利用に関する情報等を掲載したポスター、パンフレット、副読本等を作成するとともにインターネット等により幅広くPR活動を行い、情報の共有化を行います。

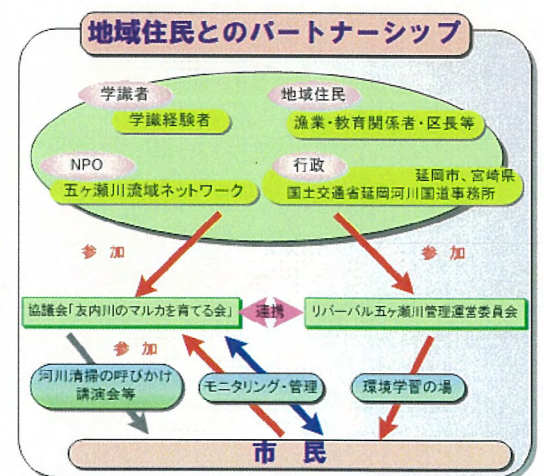
特に、五ヶ瀬川の河川清掃やイベント等の地域住民の自主的な活動に対しては、安全で多数の地域住民が参加できるように、活動に必要な河川情報を積極的に提供する等の支援を行います。

これらにより、地域住民が五ヶ瀬川に関わる機会を設け、日常の維持管理(川の365日)においては、従来の河川管理者だけが行ってきた河川管理から、「五ヶ瀬川は地域のみんなのもの」との認識に立った住民との協力・分担による河川管理への転換を推進していきます。

また、森林は山から海に至る健全な水循環を確保する上で大きな役割を果たしているため、森林の多面的な機能が保全されるよう「五ヶ瀬川ふるさと水回廊倶楽部」「高千穂森の会」等を通じて森林保全に取り組む関係機関及び、市民団体等が行う活動に協力するなど連携に努めます。



写真 5-1-1 高千穂森の会活動状況



5.3 地域住民の関心を高めるための広報活動

五ヶ瀬川の特性と地域風土・文化を踏まえ、延岡市の母なる川として「五ヶ瀬川らしさ」を生かした河川整備を進めるため、ホームページやラジオ、ケーブルテレビなどの地元メディアや広報誌を利用して広く情報提供し、住民との合意形成に向けた情報の共有化、意見交換の場づくりを図るなど関係機関や地域住民等との双方向コミュニケーションを推進していきます。

さらに、水生生物調査など自然体験活動等の機会を通じて身近な自然である五ヶ瀬川に親しみ、将来を担う子どもたちへの環境学習を積極的に支援するなど、広く地域住民に五ヶ瀬川に対する関心を高めるための活動を行います。